

「邂逅」

兵庫県立明石南高等学校
第71回生年次通信 第81号
平成31年2月28日(木)発行

71回生の諸君。卒業おめでとう!!

今回の年次通信は年次の教員からのメッセージです。みなさんへの思いを込めて書きました。

71回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

3年前に出会った時、みなさんは、まだ中学校の雰囲気を残した少年と少女で、受け答えや制服姿が本当に初々しかったことを覚えています。あれから、毎日、みなさんの成長を見守ってきました。3年が経ち、今日、卒業するにあたり、みなさんひとり一人の成長を実感しています。「高校生」という枠を卒業し、「大人」の仲間入りしていくみなさんに、改めて「おめでとう」と言いたいです。

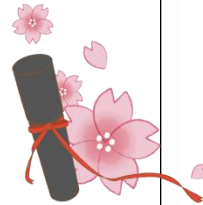
これからみなさんが進んでいく「大人」の世界は、今より厳しい世界になると思います。自分で考え判断し、行動していくことは一見自由に見えますが、一方で「責任」が伴います。失敗もあるし、後悔することもあると思いますが、これまでに学んだことを活かして、乗り越えてほしいと思います。人生は長いです。これからも多くの経験をし、そして、その経験から多くのことを学び続けて下さい。そして、その学びを活かして、人間として成長し、素晴らしい人生を送って下さい。

これまで年次通信を書くにあたって、2つのことに心がけてきました。一つは、「旬な情報」の記載です。必然的に号数が増えてしまいました。もう一つは、「自分の言葉で書く」ということです。文章を書く時はいつも71回生の誰かのことを思い浮かべて書いていました。ですから、私が感じたこと、伝えたいことを、そのままの言葉で書くことに心がけました。

この3年間で、みなさんから多くのことを学びました。みなさんと出会えたこと、そして、共に過ごせたことを本当に幸せと感じています。心から「ありがとう」と言いたいです。

最後に、これからの人生を自分自身の力で切り開いていってくれることを祈っています。

年次主任 足立 龍彦



明石南高校に入学してから卒業の日までの3年間、自分の「未来(キャリア)」に向かって突き進んできたことと思います。友達や先生方と共に勉強や部活動、学校行事など様々なことに取り組んだことが思い出として胸に刻まれていることでしょう。私にとっても71回生のみなさんと過ごした3年間は、とても短く感じる充実した時間でした。今、卒業の時を迎えて、明南での自分の居場所を離れることに、どのような思いを持っていますか？それぞれが自分で決めた

「未来」へと巣立っていくのですが、きっと期待や喜びだけではなく、不安も多いことと思います。でも、この春は、別れのあとに新しい出会いがたくさん待っています。その新しい「未来」の居場所が自分にとって輝ける場所であってほしいと願っています。卒業、おめでとうございます！



年次副主任 加幡 優子

高三の頃「なごり雪」や「木綿のハンカチーフ」を口ずさみながら、受験勉強(らしき)ものに取り組み、「春一番」が頭の中でリフレインする中受験。予想に反して合格!(^)!。

海を渡った極寒の地で一人暮らしを始めた1976年春。

寂しさを紛らわせるため布団の中で「酒と泪と男と女」と「青春時代」を歌いながら寝たのがつい昨日の出来事のように思い出される。

光陰矢の如しを身をもって体験した今、「過去を振り返らず時間を大切に!!」とお別れの寝言を言う時がついに来たようだ。



副担任 堀口 泰司

71回生の皆さん卒業おめでとう!!

この3年間を振り返ってみると、楽しかったことや辛かったことなど一人一人多くの思い出があると思います。高校生活で経験したこと学んだこと全てがこれからの人生で生きる力となって君たちの支えになります。

これからは一人一人が違う道を歩み出すこととなります。しかし、これは皆さんがバラバラになり縁が切れるということではなく、明石南高校71回生という絆は残ります。いつ・どこで・誰と再会するかわかりません。今日でいったんの別れになりますが、高校時代の出会いや新しい出会いを大切に今後の人生を歩んで下さい。私もさらに成長した皆さんとの再会の日を楽しみにしています。

1組担任 杉田 亮

今から21年前、私も明石南高校を卒業しました。しかも、71回生と同じで体操服は、みどり色です。卒業後は、ふとした時に、母校を思い出していました。教員になり、いつかは母校に帰りたと思っていたところ、タイミングが合い71回生を1年次から受け持つこととなりました。この3年間、自分の高校時代と重ね合わせ、また母校で勤務できることに喜びを感じながら過ごさせてもらいました。

この3年間、君たちもさまざまな経験をし、その1つ1つが、これから君たちの力になります。夢を叶えるために、諦めずに頑張ってください。ご卒業おめでとうございます。

「人間万事塞翁が馬」

2組担任 松岡 健治朗

① 日本スポーツ振興センターの補償期限について

3月1日(金)以降に発生した事故等については独立行政法人日本スポーツ振興センターの補償対象外となりますので怪我等については十分注意して下さい。

② 進路報告等で来校する際の交通手段について

3月1日以降、原動機付自転車や普通自動車等の運転免許証取得ができますが、未成年者の交通事故率の高さや在校生または錦城高校生の安全確保を考慮して、3月中の本校敷地内への原動機付自転車または家用車の乗り入れを禁止しています。なお、自転車で来校する場合は来客用駐輪場に停車して下さい。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。正直にいうと、皆さんが今日この日卒業することに、まだ実感がわきません。皆さんはどうでしょうか？

皆さんに伝えたいことはいろいろとあるのですが、一番はじめに思い付いたものを書いてあいさつに代えさせていただきたいと思います。9月の年次通信にも少し書きましたが、やって後悔するよりも、やらなくて後悔することのほうがずっと多いです。とりあえずやってみてください。皆さんなら何とかあります！

高校生活という大きな流れの終着点までやってきました。皆さんがこれから先、それぞれ自分の道を歩いていけることを願っています。頑張ってください！

3組担任 竹内 彩乃

71回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。私はこの3年間で、みなさんに色々なことを学ばせてもらい、そして一緒に成長することができた実感しています。そしてつくづく思うのは、人は一人では生きてはいけないということ。私はみなさんに支えられて今日の日を迎えられました。苦い経験をして、信念を見失わず一緒にやってきてよかったなあ、と本当に思います。

これからの社会はますます科学技術が発展し、自らの選択によって人生を歩いていくこととなります。たくさん失敗もするでしょうが、苦しいときは素直に助けを求め、信念を失わずがんばってください。失敗をおそれて挑戦しないよりはずっといいから。かけがえのない3年間の思い出をありがとう。



4組担任 石田 延広

直輝 (中略) …ここを去っていくにあたって、君たちに、ウィリアム・ブレイクの詩を送ります。

松代 またあ。

直輝 僕の最後の言葉です。心して聞きなさい、松代君。

松代 はい。

直輝 「ぼくの燃える黄金の弓を、希望の矢を、槍を、ぼくにああ立ちこめる雲よ消えろ。炎の戦車をぼくに与えてくれ。心の闘いから、ぼくは一步も引く気はない。この剣をぼくの手の中で眠らせてもおかないぞ」…(中略)…それから先にも、君たちの上にはいくつもの苦しみと、いくつものかなしみが押し寄せてくるでしょう。どうしようもない大きな力の前で打ちひしがれることもあるでしょう。絶望に泣き叫ぶこともあるでしょう。涙も枯れ果て希望を失うこともあるでしょう…それでも、いつも胸に炎の戦車を抱いて、それら幾多の苦難と闘い続けてください。百年後、二百年後、今の君たちの苦しみ、かなしみは嘘のように晴れ、笑い話となるかもしれません。その日まで、胸に炎を燃やし続けていてください。明日は…未来はもう君たちの手の中にあります。君たちの胸の中で微笑んでいます…以上をもって、先生の最後の言葉といたします。<戯曲「ぼくに炎の戦車を」より一部抜粋>

5組担任 田岡 靖子

教師になって人の成長を見守り、新たな旅立ちを見送る節目に立ち会うたびに、胸がいっぱいになります。みなさんの人生の中で節目となるこの1年、高校生活の3分の1の時間を縁があって共有させてもらえたことや、その時間の中で与えてもらった感動や学びを思い起こしながら、みなさんの卒業を本当に嬉しく思っています。さて、明日からいよいよそれぞれが選んだ道を行っていくこととなりますね。「こうありたい」という希望とそのための努力を惜しまずに、自分のペースで歩みを進めて下さい。そして自分が思い描いたようにうまくいかなくて苦しいときがあっても、それを乗り越える強さと、柔軟にそれを修正する勇気を持って下さい。

人生は山あり谷ありです。新しい環境で、しなやかに人生を歩いていってくれることを心から願っています。この1年ありがとう。新たな出会いや経験が、また1つ、また1つ、と積み重なって、豊かな人生となりますように。卒業おめでとう。

6組担任 上田 康子

71回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

「一番、幸福な日というのは、すばらしいことや、驚くようなこと、胸の湧きたつようなできごとがおこる日ではなくて、真珠が一つずつ、そっと糸からすべりおちるように、単純な、小さな喜びを次々にもってくる一日一日のことだと思うわ」

これは、『アンの青春』の中の言葉です。卒業の日を迎えて、皆さんの明南での三年間が、このような1日1日であったことを改めて確信しています。これから新しい世界に出ていく皆さん、大きな夢が叶わなくても、小さな喜びにあふれた人生を送られることを心から祈っています。二年間の喜びにあふれた日々をありがとうございました。

7組担任 柴崎 千晶

71回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

これからみなさんは仲間と離れそれぞれの道を行っていきます。ときには苦しいこともあるかもしれませんが、苦しみ乗り越えた分だけ喜びがあると信じて前に進んでほしいと思います。立ち止まってしまいそうになったときには、苦しいときを乗り越えてきた自分の姿、友達や先生や家族の顔を思い出してみてください。決してみなさんは一人ではありません。明石南高校での思い出や仲間が、これからのみなさんの支えになってくれることを願っています。どんなときも周りの人の支えがあるということ、そしてそれに感謝することを忘れないでください。家族、友達、自分自身を大切に。



私も71回生のみなさんと共に過ごせたことに感謝しています。たくさんの思い出をありがとう。

8組担任 川原 亜希子

保護者様へ

本日、卒業式が無事とりおこなわれました。お子様のご卒業おめでとうございます。

3年間お世話になりました。会計は差額分を引き落としに指定されている預金口座の方に振り込みます。それまでに口座のご解約をなされませんようよろしくお願いいたします。会計報告書は、4月上旬までに各家庭に郵送する予定です。よろしくお願いいたします。